

既存VLGCにスクラバー搭載

■クミアイ・ナビゲーション、中国で工事完了

くみあい船舶100%出資のシンガポール船主、クミアイ・ナビゲーションはこのほど、2013年に竣工した既存の大型LPG船（VLGC）“Crystal Sunrise”にSO_xスクラバーを搭載した。このほど、中国の友連船廠（蛇口）で搭載工事を終え、16日出港する予定。スクラバーは、邦船社のVLGCへの搭載計画も複数明らかになっているが、実際に搭載を終えた日本関係のVLGCは同船が初と見られる。

“Crystal Sunrise”は川崎重工業坂出工場で建造され、現在はノルウェーのエクイノールに貸船しているVLGC。また、クミアイ・ナビゲーションはジクシス向けで、今年

4月に川崎重工坂出工場で竣工する予定の8万2200m³型の新造VLGCにもスクラバー搭載を予定している。2020年初めに川崎重工で竣工予定の8万2200m³型への搭載も決めている。同社が保有するVLGCは発注残2隻を含めて6隻あり、その半数へのスクラバー搭載を確定していることになる。

クミアイは世界的な環境問題への取り組みが加速する中、2020年に施行される硫黄酸化物（SO_x）全海域規制を念頭にスクラバーの搭載を進めている。市場関係者によると、2020年半ばに



スクラバー搭載を終えた“Crystal Sunrise”

南通中遠海運川崎船舶工程（NACKS）で建造する20万8000重量トンのニューキャッスルマックス・バルカーにもスクラバーを搭載するようだ。